



## スポーツ教育・学校体育について（平成16年12月定例会）

1) 今年のインターハイと国民体育大会の成績をどのように分析され、評価されておられるのでしょうか？

2) 現在、児童生徒の数が減少の一途をたどっており、小規模校では、1学年で、ソフトボールやバレーボール・サッカーなど正規の人数でチームが組めない学校が、県内にかなりあります。日常のスポーツ活動の充実として、学校体育を掲げておられますが、具体的にはどのように取り組んでいかれるのか、お聞かせください。

3) 小規模校においてもあらゆるスポーツを体験させるための合同授業の実施など、スポーツにおける機会均等化についてお考えをお尋ねいたします。

### 【教育長答弁】

1) インターハイでの入賞者数は、この2、3年と同程度であり、確実に上位に入賞する団体競技が少なく、また、埼玉国体の「少年の部」の成績を見ましても、全国で44位と、本県高校生の競技水準は低い状況にあります。

今後、ジュニアの競技力向上に積極的に取り組んでまいります。

2) 学校体育の充実について

各学校が授業の充実と、子ども一人ひとりの課題に応じた体力・運動能力向上への取り組みが図られるよう積極的に支援してまいります。

3) スポーツにおける機会の均等化について

同年代による集団的スポーツの取り組みについては、子どもたちの能力を伸ばす上で大変有効であり、小規模校においても、複数校の合同授業や合同運動会などの取り組みを積極的に紹介し、その充実を図り、スポーツ活動を通して、子どもたちのスポーツに親しむ機会が均等になるよう努めてまいります。